

住友金属鉱山株式会社

～長期戦略の実践と将来ビジョン～

2007年度(平成20年3月期)

中間決算説明会

2007年11月6日

説明内容

成長戦略の実現状況

資源・金属大型戦略の実現状況
セグメント別営業利益
海外鉱山会社の貢献度拡大

銅事業の戦略展開 — 東予45万t体制

Key Word ⇒ 「原料」「銅地金販売」「硫酸販売」

ニッケル事業の戦略展開 — 10万t体制

Key Word ⇒ 「技術力、現場力の活用」
「メジャー・シェアの確保」

電子・機能材の戦略展開

非鉄相場の現状と見通し

2007年度中間決算概要

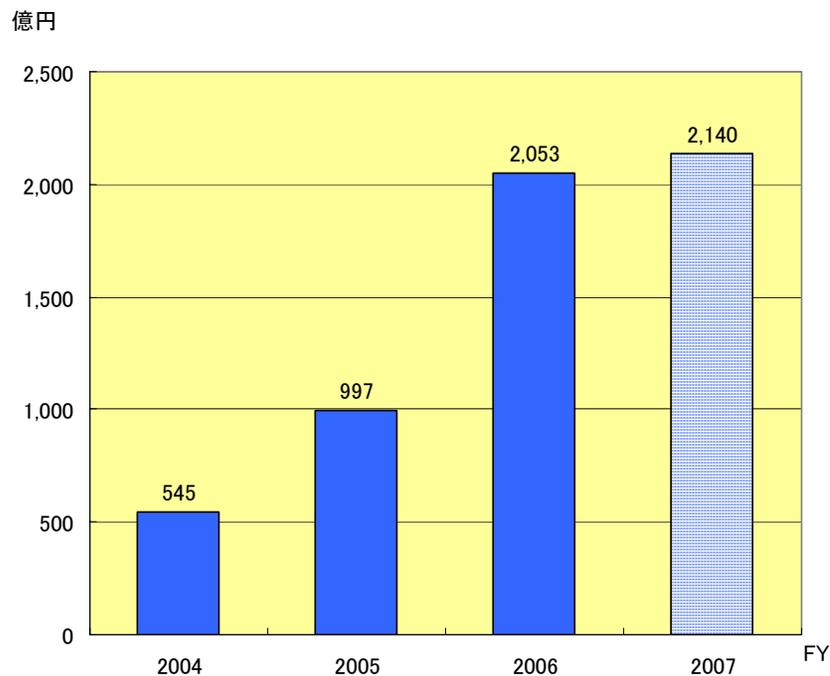
成長戦略の実現状況



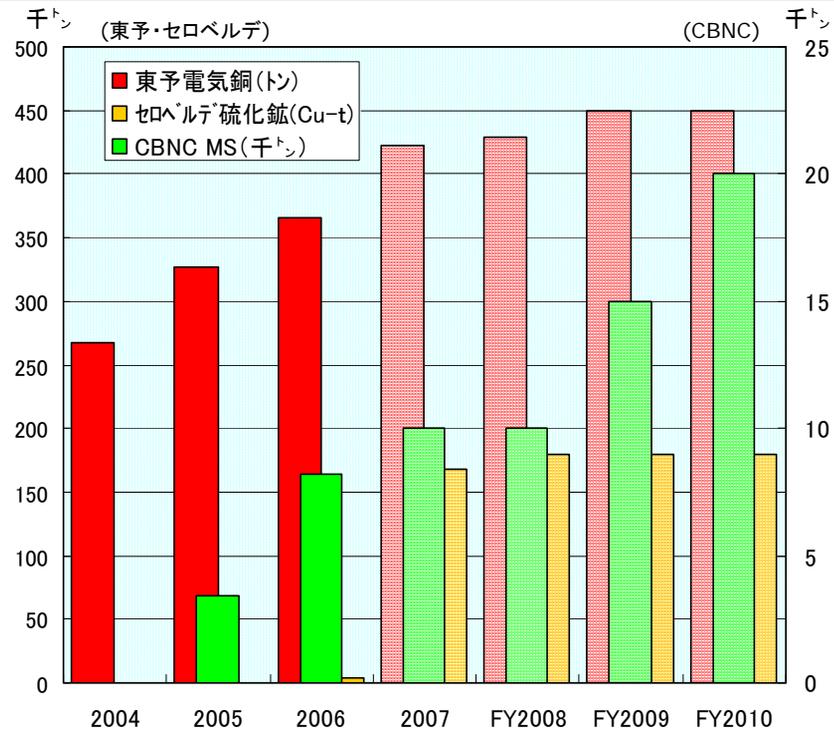
ポゴ金鉱山(アラスカ)付近のオーロラ

資源・金属大型戦略の実現状況

連結経常利益推移



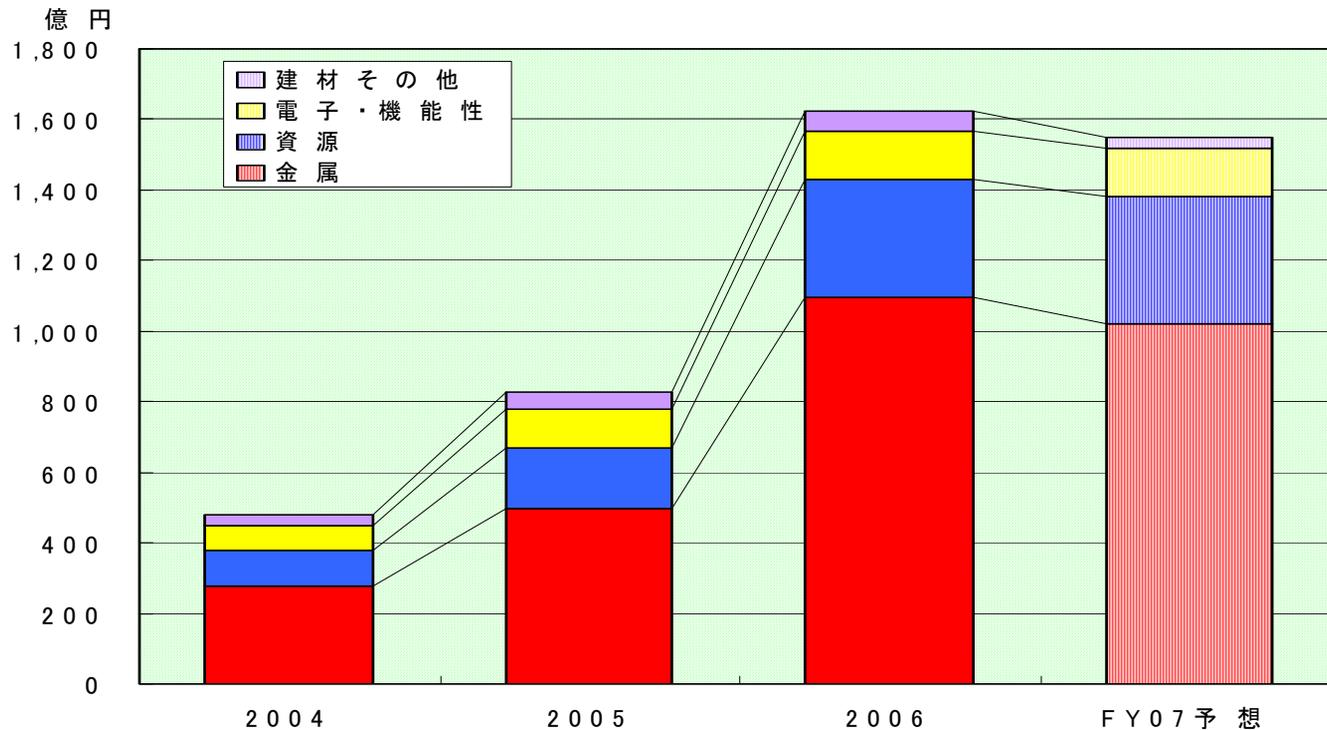
プロジェクト成果(生産量)



項目	2004	2005	2006	2007
連結経常利益(億円)	545	997	2,053	2,140
東予電気銅(トン)	267,755	326,694	365,994	423,100
CBNC MS(千トン)		3.4	8.2	10.0
セロベルテ硫化鉱(Cu-t)			4,070	168,300

セグメント別営業利益

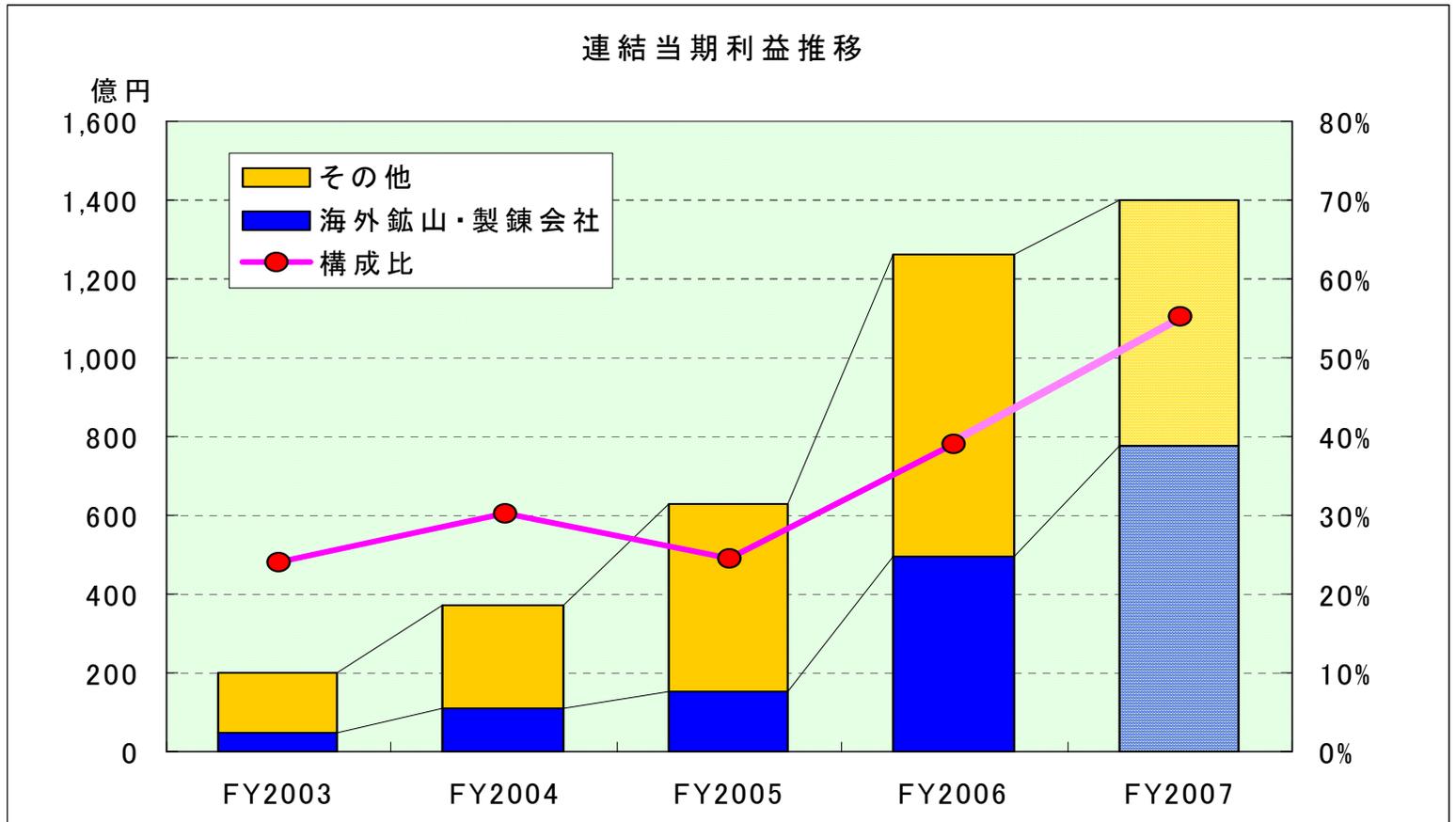
資源・金属の業績拡大と電子・機能材の復調／展開



億円

部門	2004	2005	2006	FY07予想	07/上
金属	277	497	1,096	1,030	733
資源	100	171	335	370	247
電子・機能性	73	112	136	120	46
その他・消去	29	48	59	30	△ 21
再計	479	828	1,626	1,550	1,005

海外鉱山会社の貢献度拡大



連結対象 : Morenci、Northparkes、Coral Bay、Pogo

持分法対象 : Cerro Verde、Ojoas、Candelaria、P.T.INCO、Figesbal

銅事業の戦略展開

— 東予45万t体制の完成 —



Key Word A.「原料」

Key Word B.「銅地金販売」

Key Word C.「硫酸販売」

東予工場 精製炉

銅事業の戦略展開

東予工場45万トン体制の完成



電気銅



濃硫酸



銅精鉱 + 鉱山収益

銅精鉱



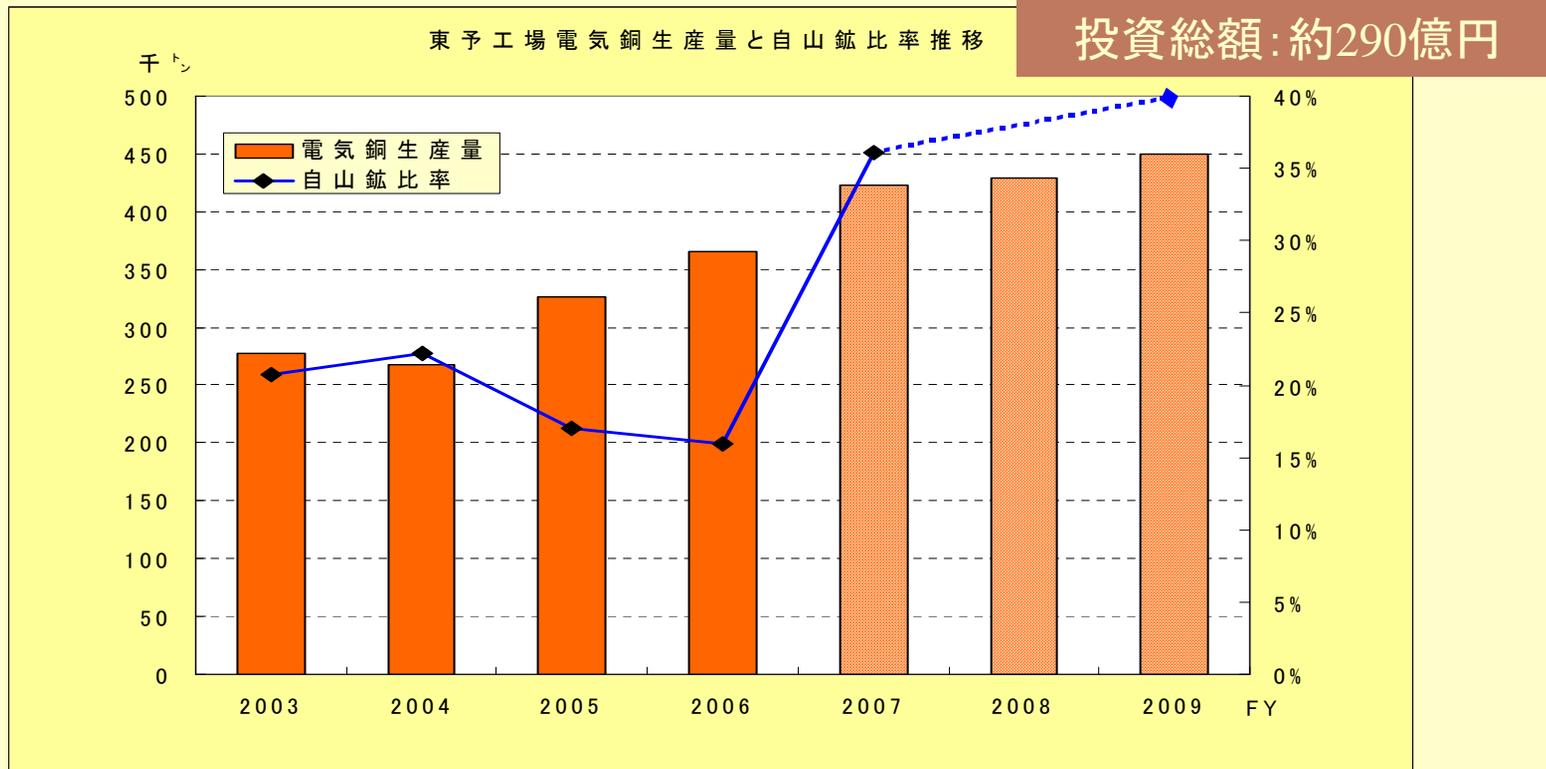
自山鉱(権益保有鉱山)



単純買鉱

東予工場45万吨起業の完

東予工場は07年下期から450Kt/Yレベルの操業度に到達

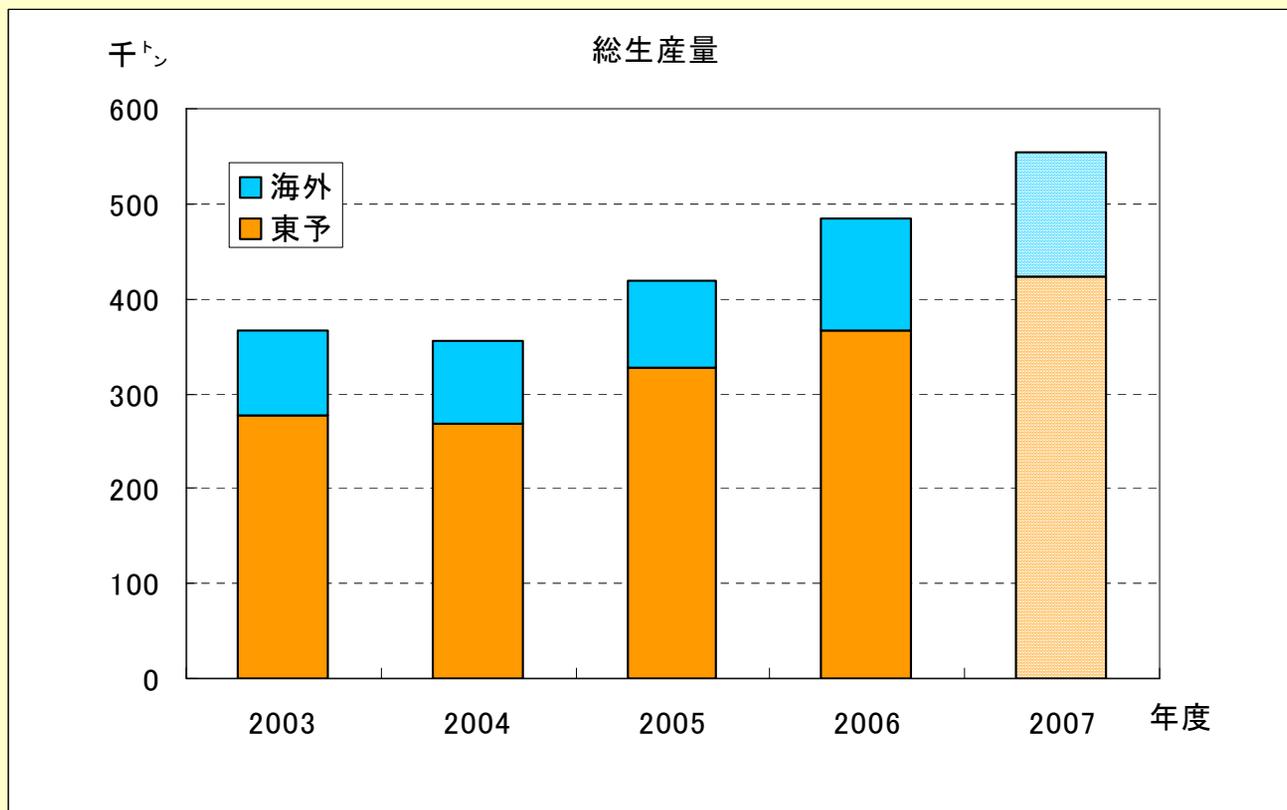


原料確保もCerro Verdeへの参画で自山鉱比率は約40%まで上昇。(*)

* Cerro Verde長期買鉱契約を含む。

連結総生産量

当社の電気銅連結総生産量は2007年度で約55万トン



Cerro Verdeへの資本参加に加え、東予、金隆の増産で増量
海外：モレンシー鉱山、セロベルデ鉱山、金隆製錬所

Cerro Verde銅鉱山(Peru)

Cerro Verdeの稼働で自山鉱比率は07年度36%、09年度40%をカバー

出資者 Freeport McMoRan 53.6、Buenaventura 18.2、

当社 16.8、住友商事 4.2、一般 7.2 (%)

総投資額 US\$ 850 million (日本側 US\$ 265 million)

生産量 180kt/年 (Cu量換算) × 26年

当社の銅精鉱引取権

当初10年間：銅精鉱生産量 × 50% (≒90kt/年)

06年12月、第一船をSMM向け出荷

フル生産に向け順調に操業度アップ

07年9月までの生産銅量193.0kt 《酸化鉱(Capa90kt/年)を含む》

11月13日 現地にて完工セレモニー (8月の地震の影響で延期)



Pogo金鉱山 (Alaska)

メジャーシェアをもつ海外鉱山展開

出資者：当社 51、Teck Cominco 40、住友商事 9（%）

総投資額：US\$ 378 million

推定埋蔵金量：152t

生産量：12t/年

2006年2月、金の生産開始

同年10月、電力設備損傷事故で生産中断

2007年4月、尾鉱フィルタープレス等の追加工事が終了、月間操業度がフル操業時の80%以上に到達

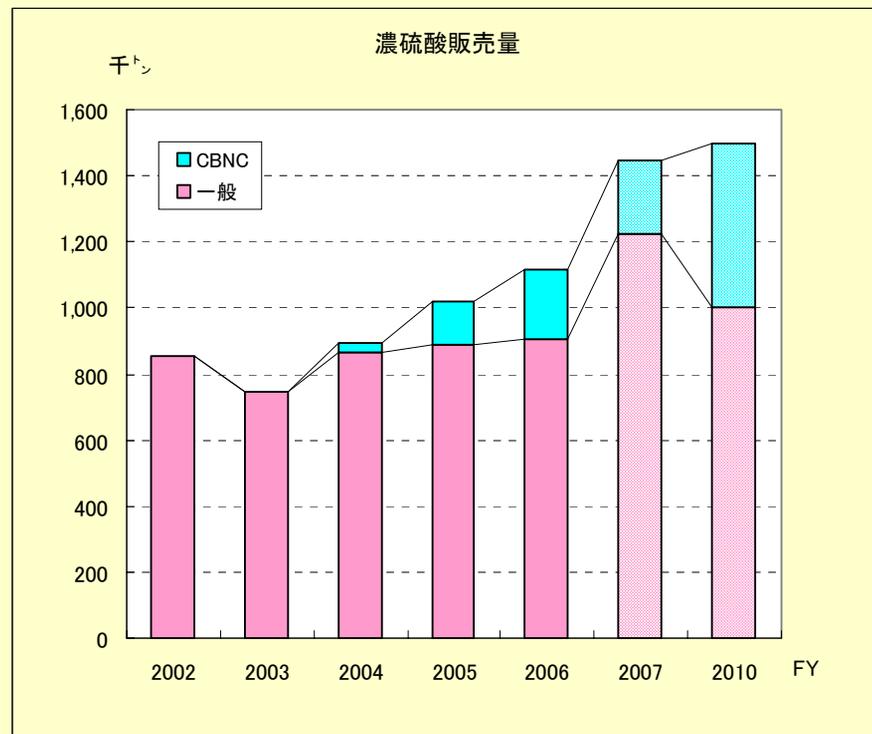
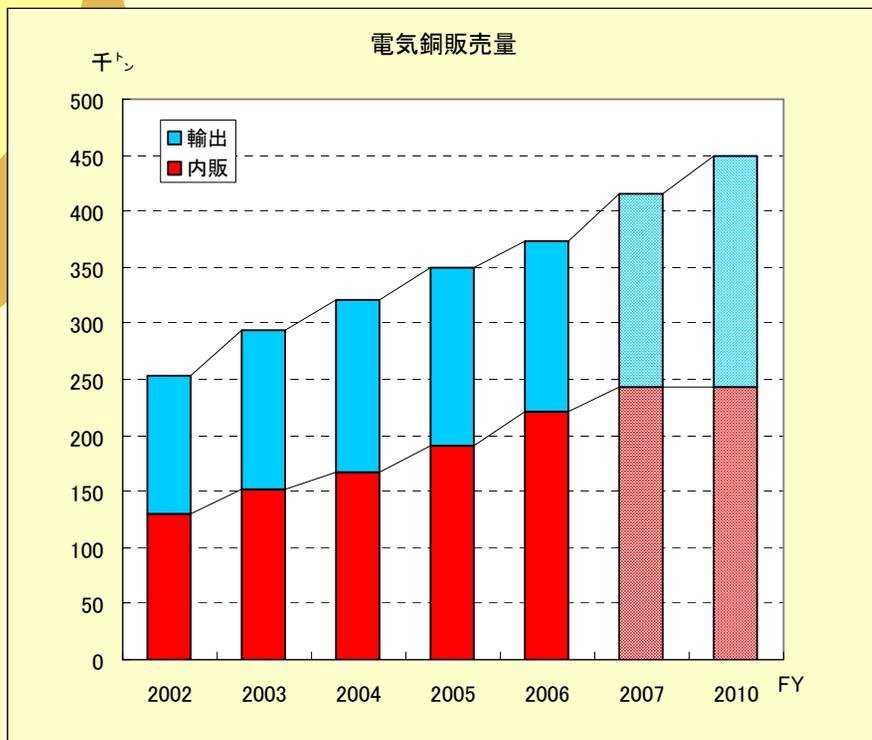
2007年生産量予想は8t ⇔ 9月迄の実績は5.6t（鉱石品位13.0g/t）



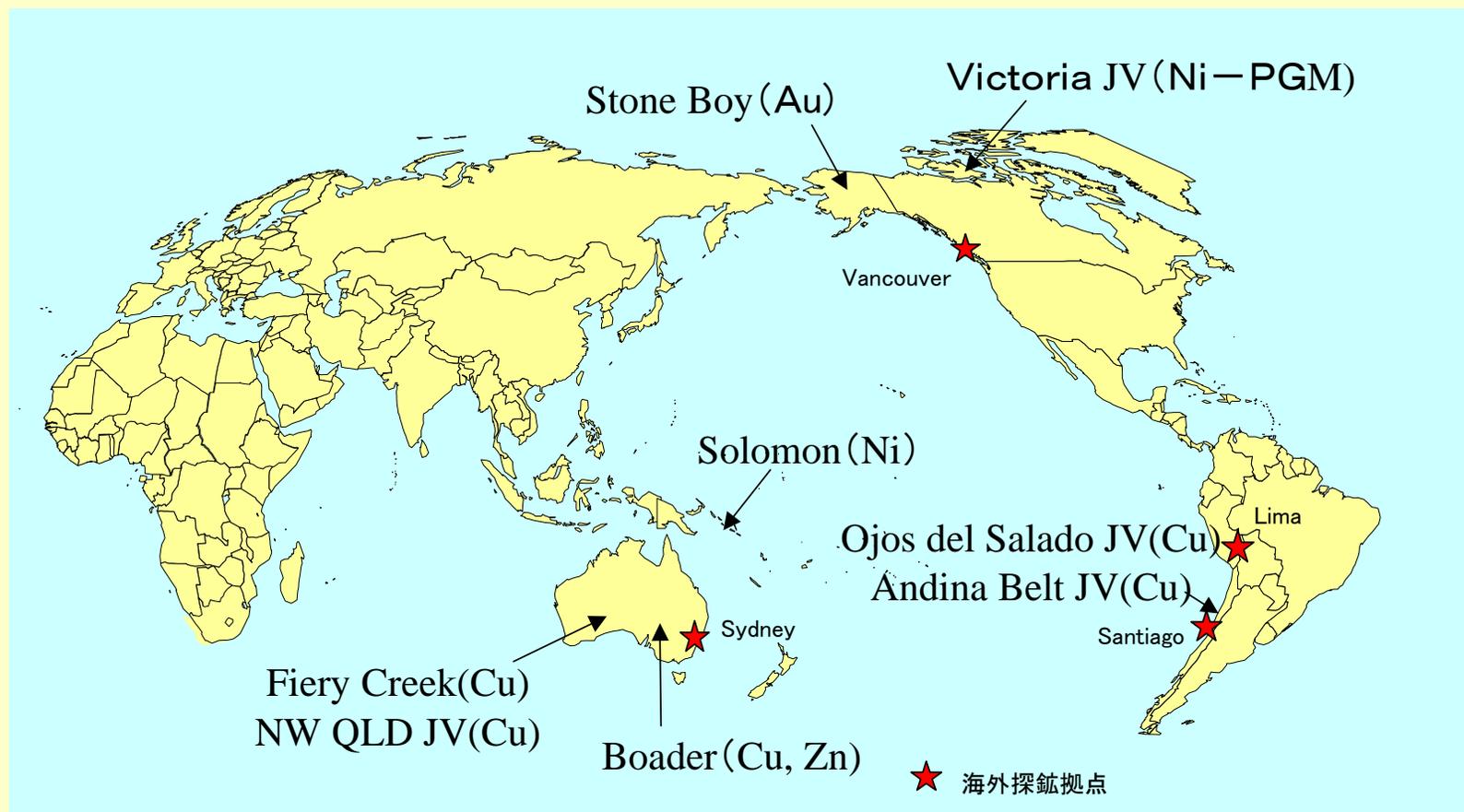
電気銅・硫酸の拡販

電気銅販売は国内景気の回復と
東南アジア需要増で着実に増販

濃硫酸の増産分はコーラルベイのHPAL
(High pressure acid leach)が吸収



メジャーシェア保有をめざして実施中の探鉱プロジェクト(一部)



7/10 探鉱活動の拡充へ、ペルー現地法人設立。探鉱案件を絞り込み中。

ニッケル事業の戦略展開

—ニッケル年産10万t体制をめざして—



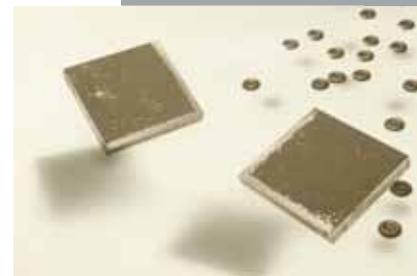
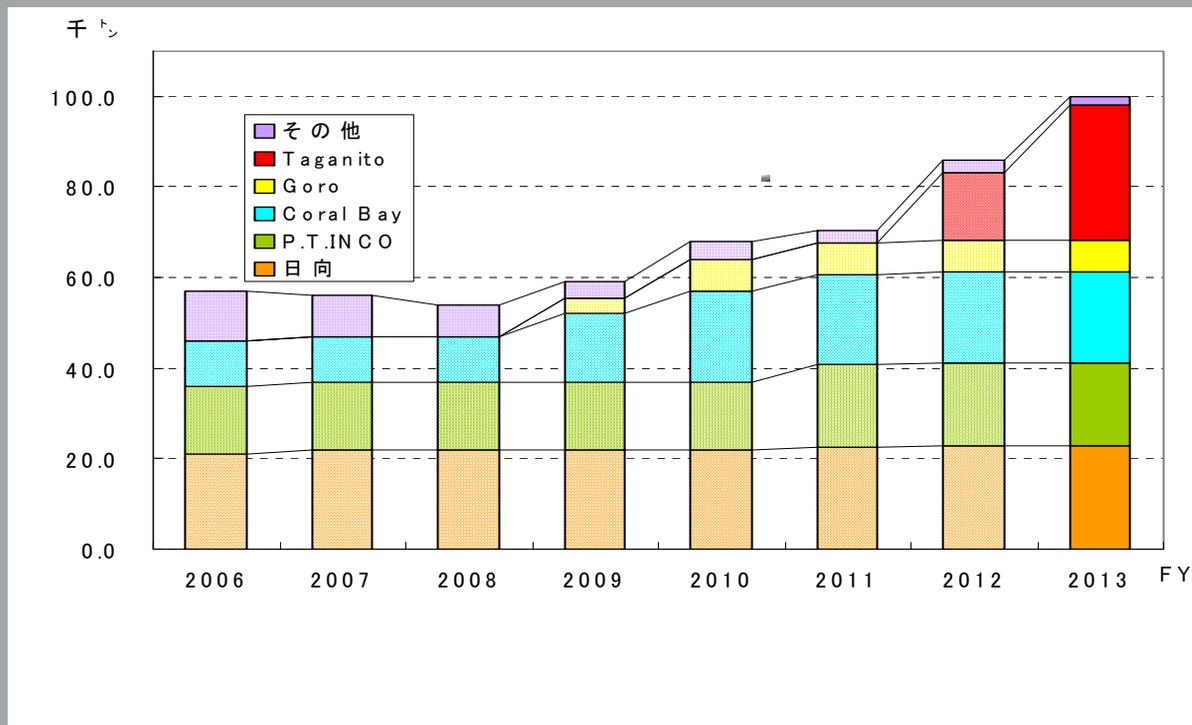
ニッケル戦略展開

技術力と現場力という強みを生かして、世界トップ5入りをめざす



ニッケル事業の拡張計画

10万吨体制をめざして



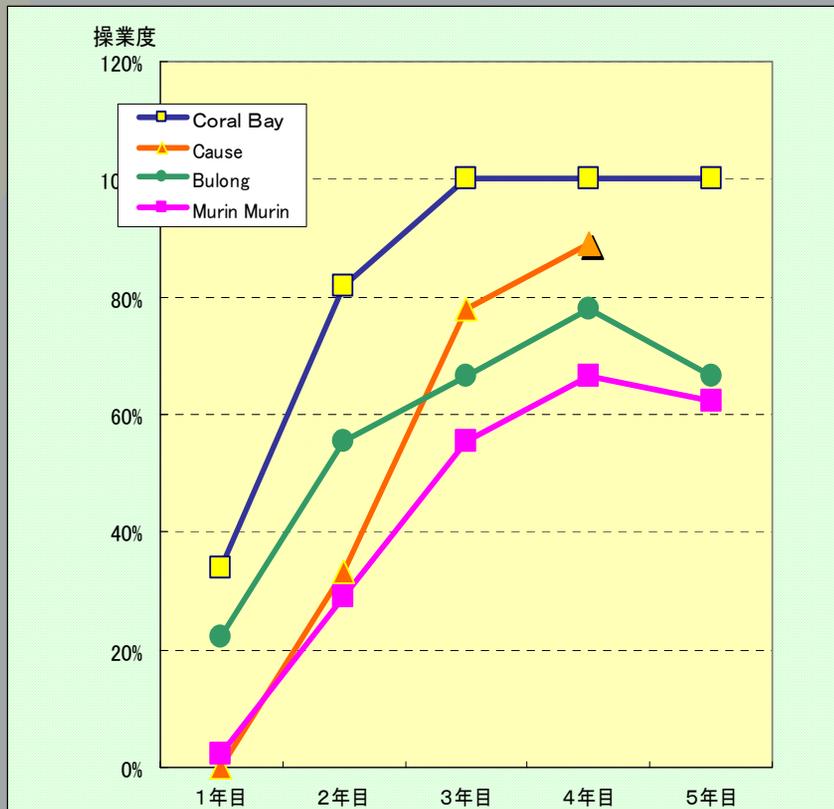
ニッケル10万吨体制へのSTEP

- (1) 0504 Coral Bay I 生産開始 10kt
- (2) 0904 Coral Bay II 生産開始 10kt
- (3) 09年度 Ni工場能力 41ktへ
- (4) 09初 Goro生産開始 60Kt
- (5) 2010 P.T.INCO 200M-pounds生産開始 18Kt
- (6) 2012 Taganito生産開始 30Kt
- (7) 2013 Ni工場能力65Ktへ ⇒ 10万吨体制仕上げ

Coral Bay

I 期 HPAL Plantのフル稼動に初めて成功

II 期 2万吨/年へ能力倍増工事が進捗中



	kt					
	FY2005	FY2006	FY2007	FY2008	FY2009	FY2010
生産能力	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0
生産量	3.4	8.2	10.0	10.0	15.0	20.0

2009年初めの完成予定に向けて、
工事は折り返し点を通過



第2HPAL(タガニート・プロジェクト)

3万tの原料確保

場所 : フィリピン、ミンダナオ島北東部

生産量 : MS(Ni量換算3万t/年)

操業期間: 30年間を予定

総投資額: US\$ 1 billion 以上

(スケジュール)

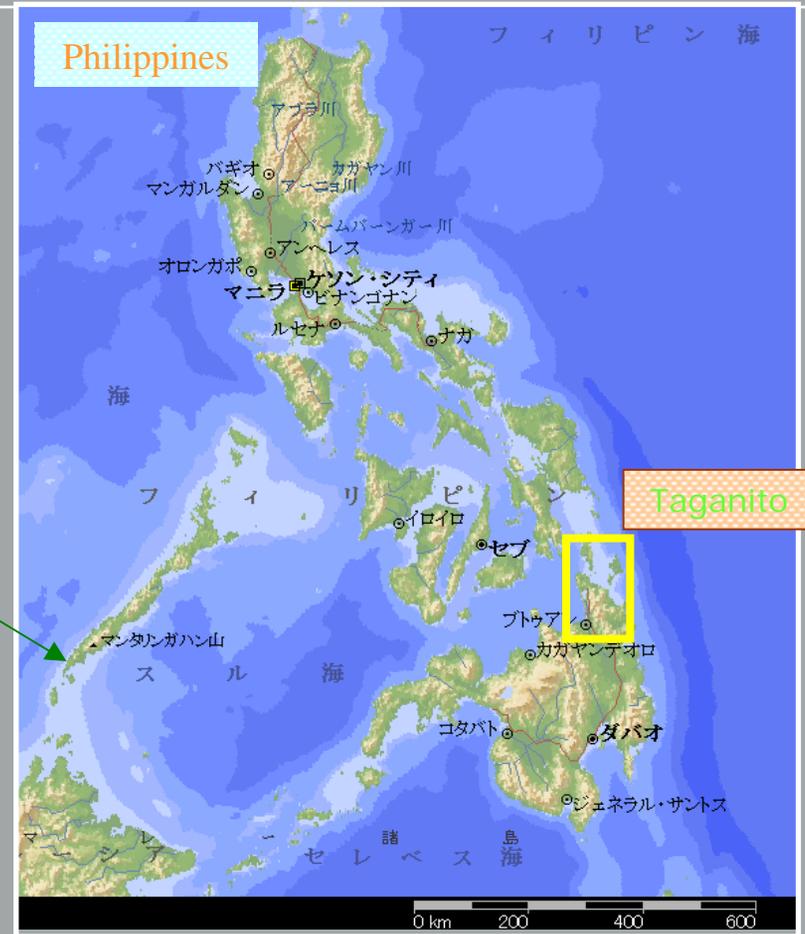
2007,03 Taganito Mining社とFS契約締結

2008 FS終了予定

2012 生産開始



建設予定地



Hydroelectric Karebbe project

1. 第3の水力発電所(90MW)を建設
2. 工事費総額は US\$275 – US\$280 million
3. 昨年1月から遅れていたインドネシア政府の環境許可を本年8月末に取得、中断していた工事の再開を決定
4. 生産能力は2010年上半期までに160百万lb(72千トン)から200百万lb(90千トン)に増強

2007年10月1日 PT INCO発表

CY	2002	2003	2004	2005	2006	2007
百万lb	131	155	159	168	158	170
千トン	59.2	70.2	72.2	76.4	71.7	77.1

Goroプロジェクト (New Caledonia)

世界最大級のニッケルラテライト鉱山

出資者 : CVRD INCO 69、当社 11、三井物産 10、SPMSC 10 (%)

投資総額 : US\$ 3.2 billion

生産量 : ニッケル 6万トン/年、コバルト 4.6千トン/年

操業開始予定 : 2008年(CY)末

3年かけてのramp upを予定

2007年10月11日 CVRDリリース

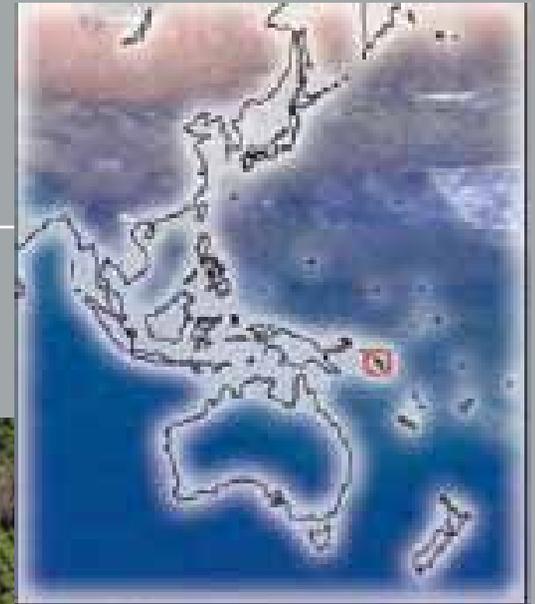
当社の参画継続に向けてCVRD-Incoと協議中



ソロモン探鉱プロジェクト

10年後を見据えた探鉱プロジェクト

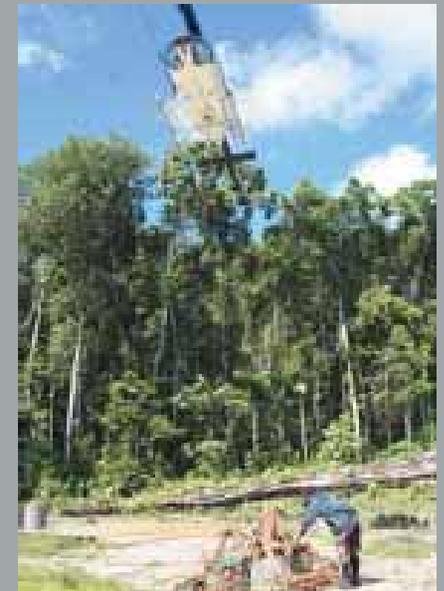
2009年度のFS作成をめざし活動中



探鉱キャンプ

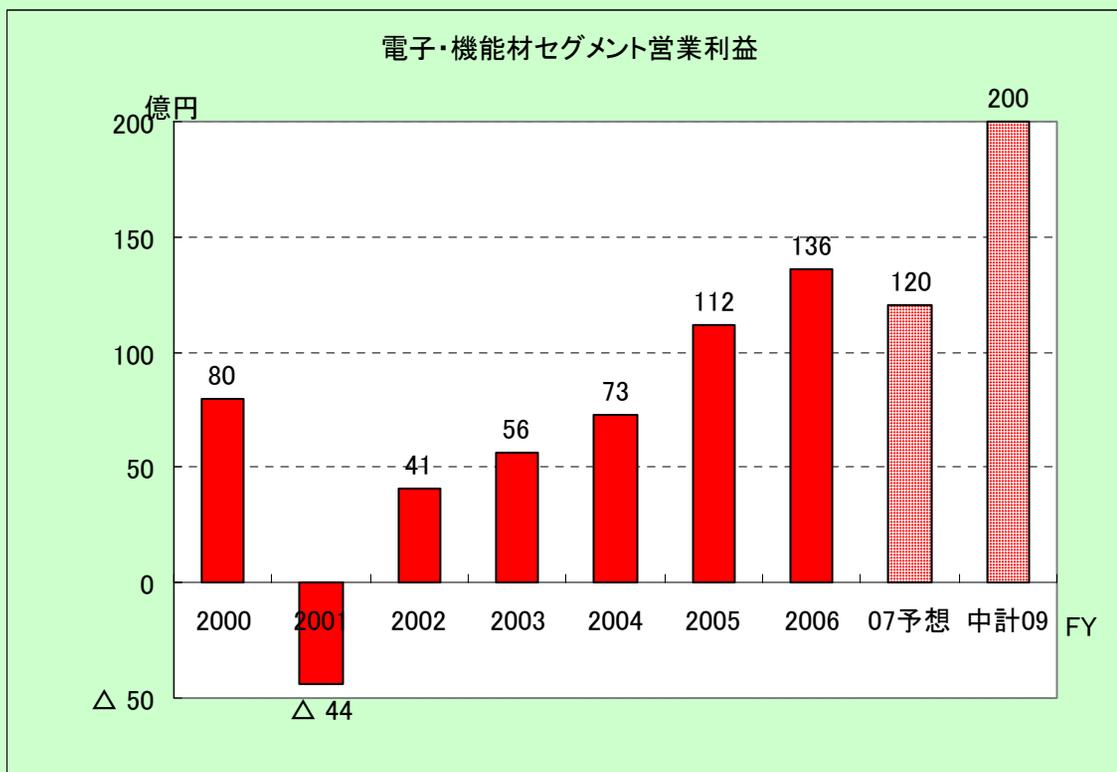


ボーリング風景



ヘリでの輸送

世界トップクラスのシェアをめざして



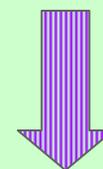
既存製品の強化

2層めっき基板

電池材料

COF

新商品の開発



実現に向けて
体制を強化！

ITバブル崩壊後の赤字転落から着実に業績回復。

2005年度、2006年度と過去最高益を更新。

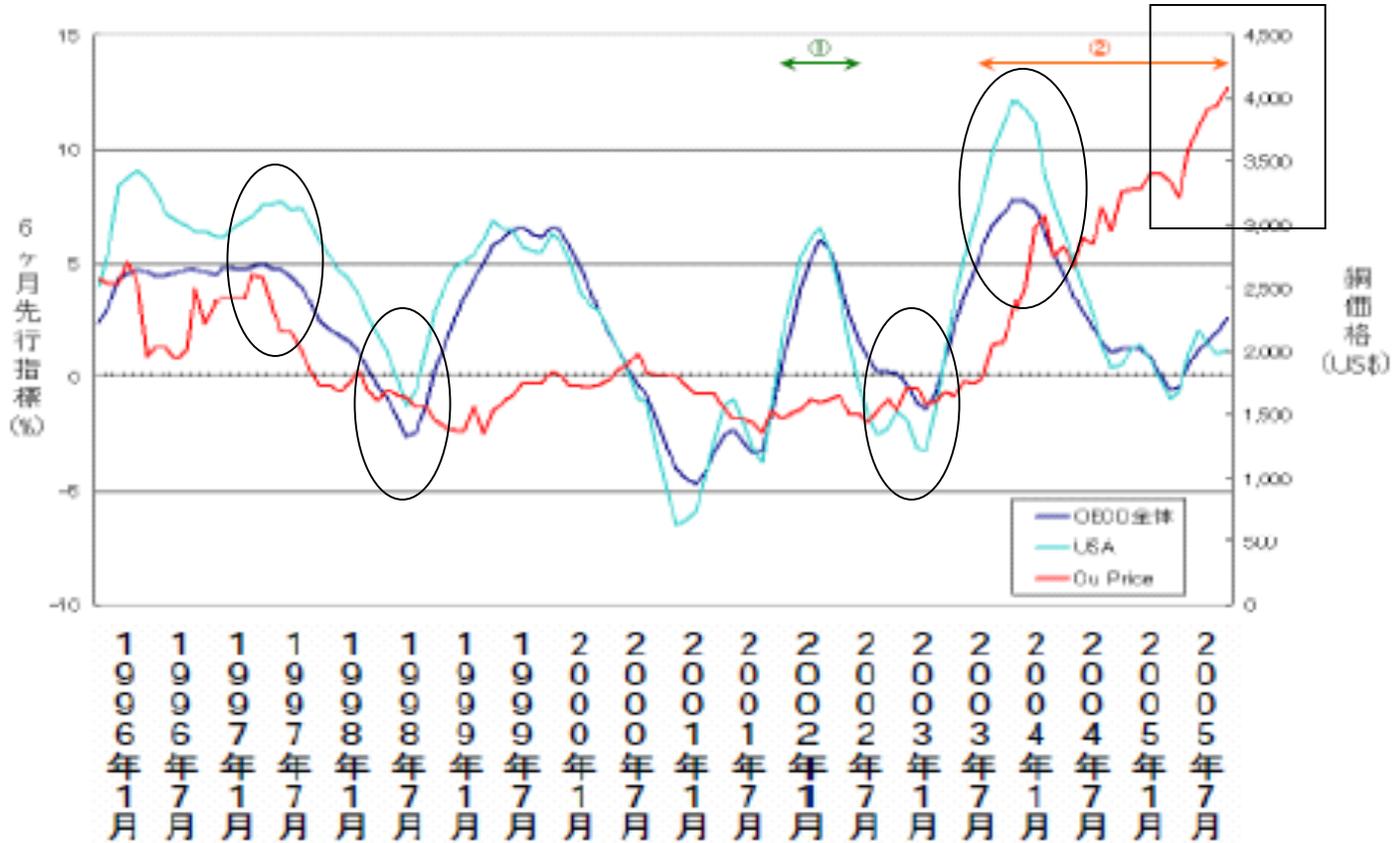
06中計では2009年度営業利益200億円をめざす。

非鉄相場の現状と見通し



銅価と経済指標

銅価の牽引役は2004年からBRICsに

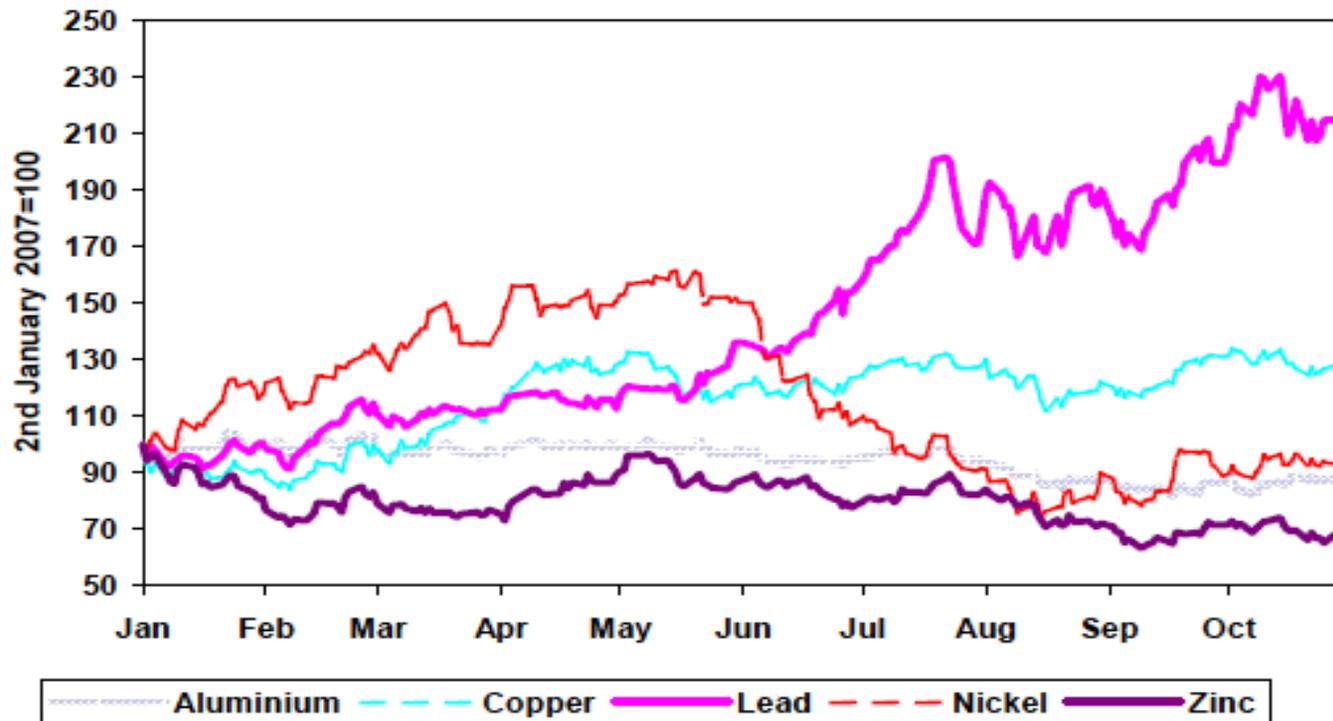


出典: 2006年3月JOGMEC金属資源レポート

図 2: 景気指標と銅価格の推移 (1996年～2005年)

2007年のメタル価格の変化

MONTHLY INDEXED LME CASH METAL PRICES (January 2007 = 100)



出典: Brookhunt

銅価見通しと需給動向

	('000 tons)	
	2007.1-7	2006.1-7
Primary production	10,472	10,015
Refined usage	10,790	10,041
Market balance	-318	-26
Reported stock change	-213	-40
%Change (China)	37.6%	28.8%
%Change (World Ex-China)	-0.4%	0.0%
%Change (Total)	7.3%	3.7%

出典：ICSG

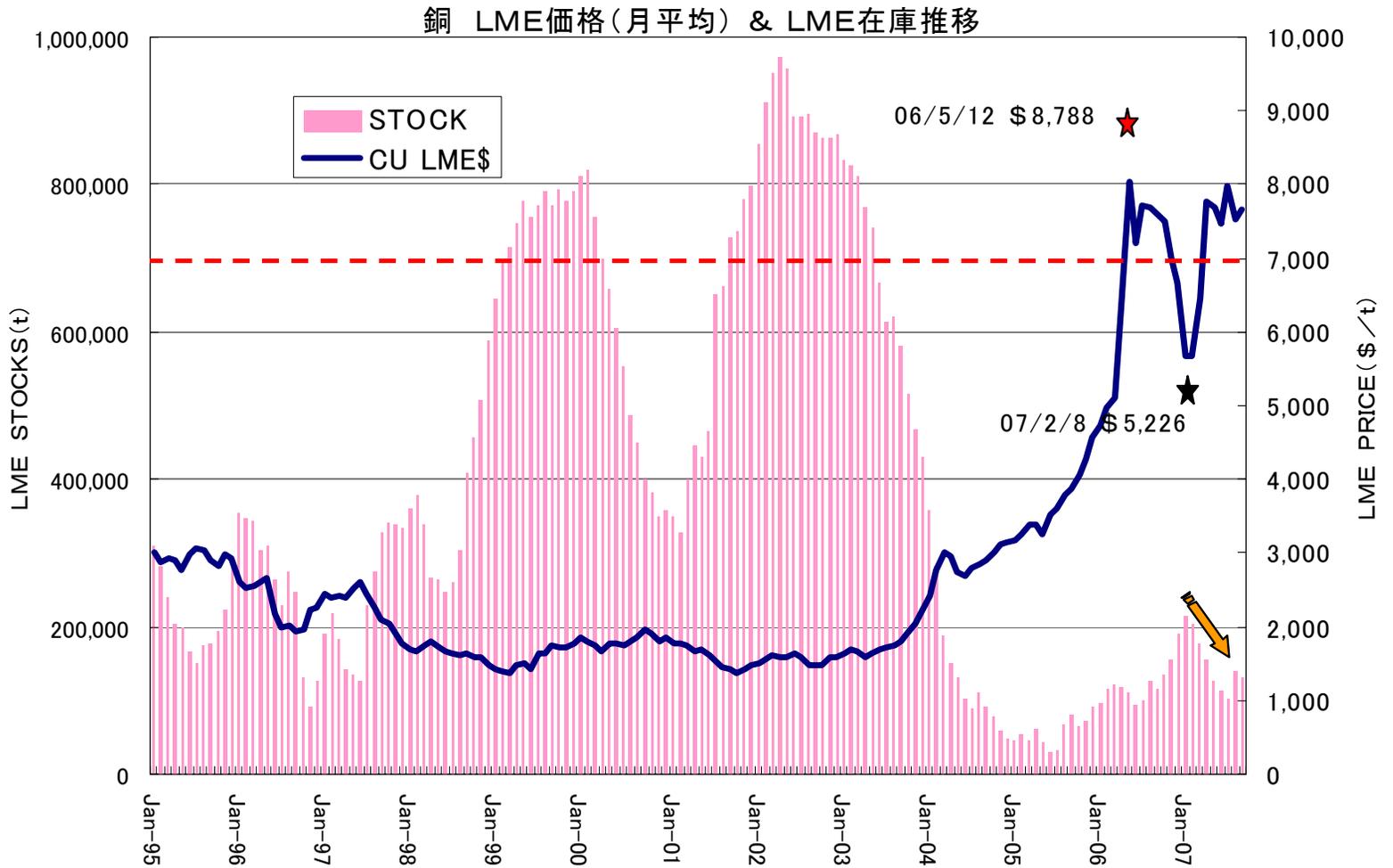
World refined copper supply/demand balance ('000t)

	2006	2007f	2008f
Production	17353	18119	18951
% change	4.6%	4.4%	4.6%
Usage	17123	18009	18701
% change	2.3%	5.2%	3.8%
Balance	+230	+110	+250

Source: ICSG, October 2007

Cu

Cu	05上	05下	06上	06下	07上
\$/t	3,574	4,621	7,440	6,501	7,677



ニッケル価格見通しと需給動向

('000 tons)

	2007.1-7	2006.1-7
Primary production	848	774
Refined usage	807	804
Market balance	41	-30
%Change (China)	34.6%	25.3%
%Change (World Ex-China)	-6.5%	6.0%
%Change (Total)	0.4%	8.8%

World refined nickel supply/demand balance ('000t)

出展: INSG

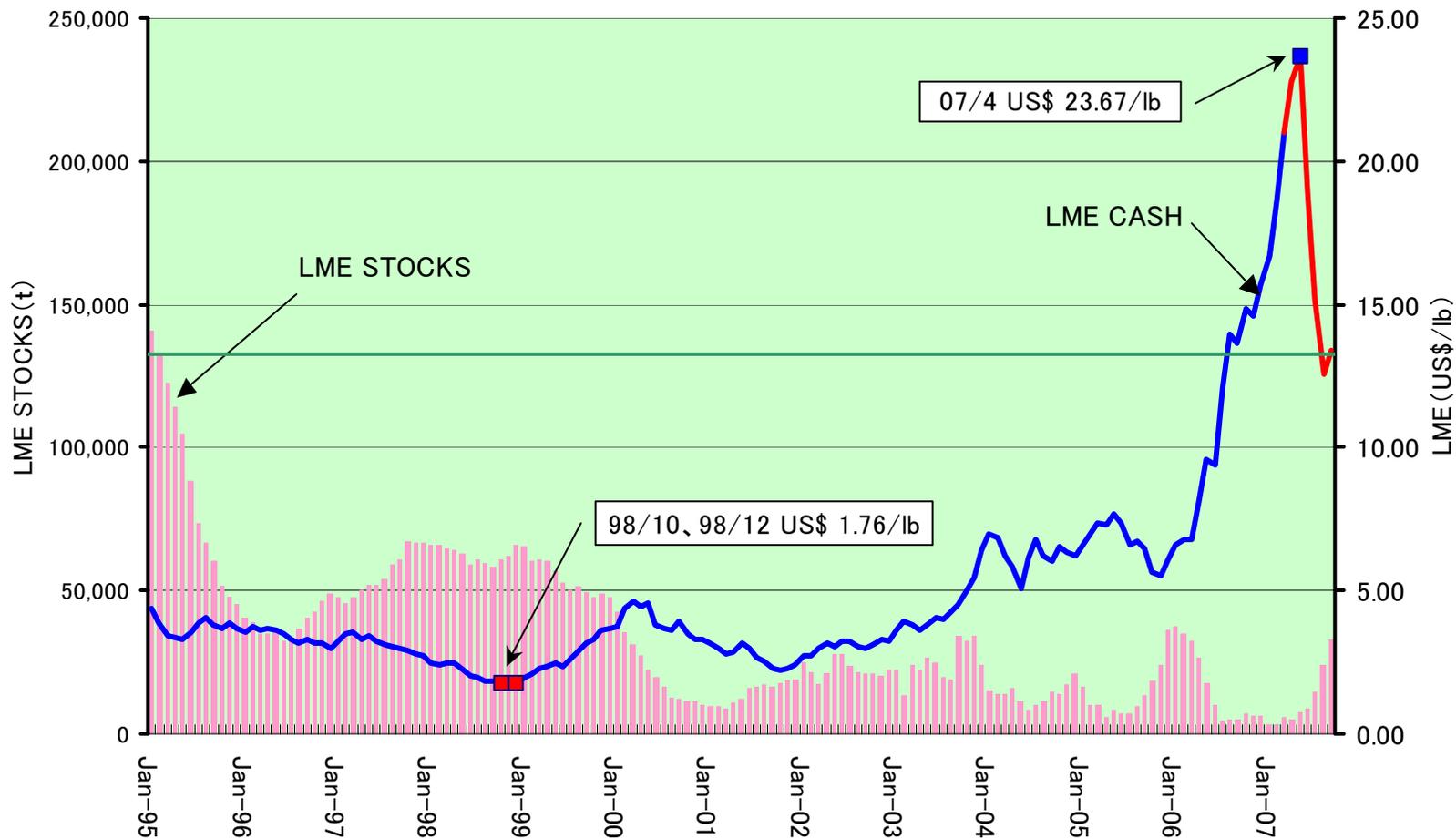
	2006	2007f	2008f
Production	1360	1470	1570
% change	4.7%	8.1%	6.8%
Usage	1400	1350	1470
% change	12.2%	-3.6%	8.9%
Balance	-40	+120	+100

Source: INSG, October 2007

Ni

Ni	05上	05下	06上	06下	07上
\$/lb	7.03	6.23	11.13	16.91	17.75

Ni LME Settlement(月平均) & LME在庫推移表

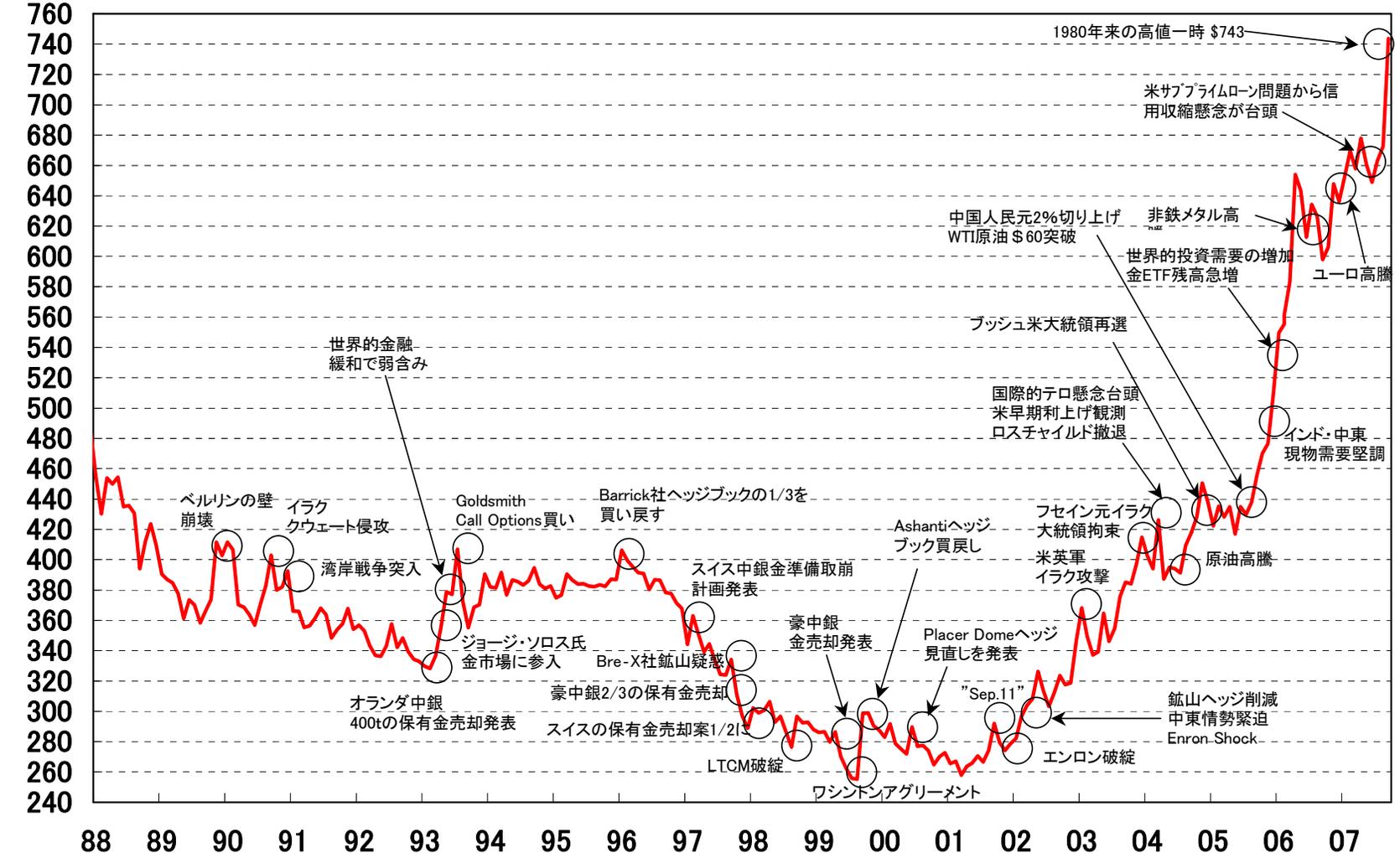


Au

Au	05上	05下	06上	06下	07上
\$/Toz	433	520	625	632	674

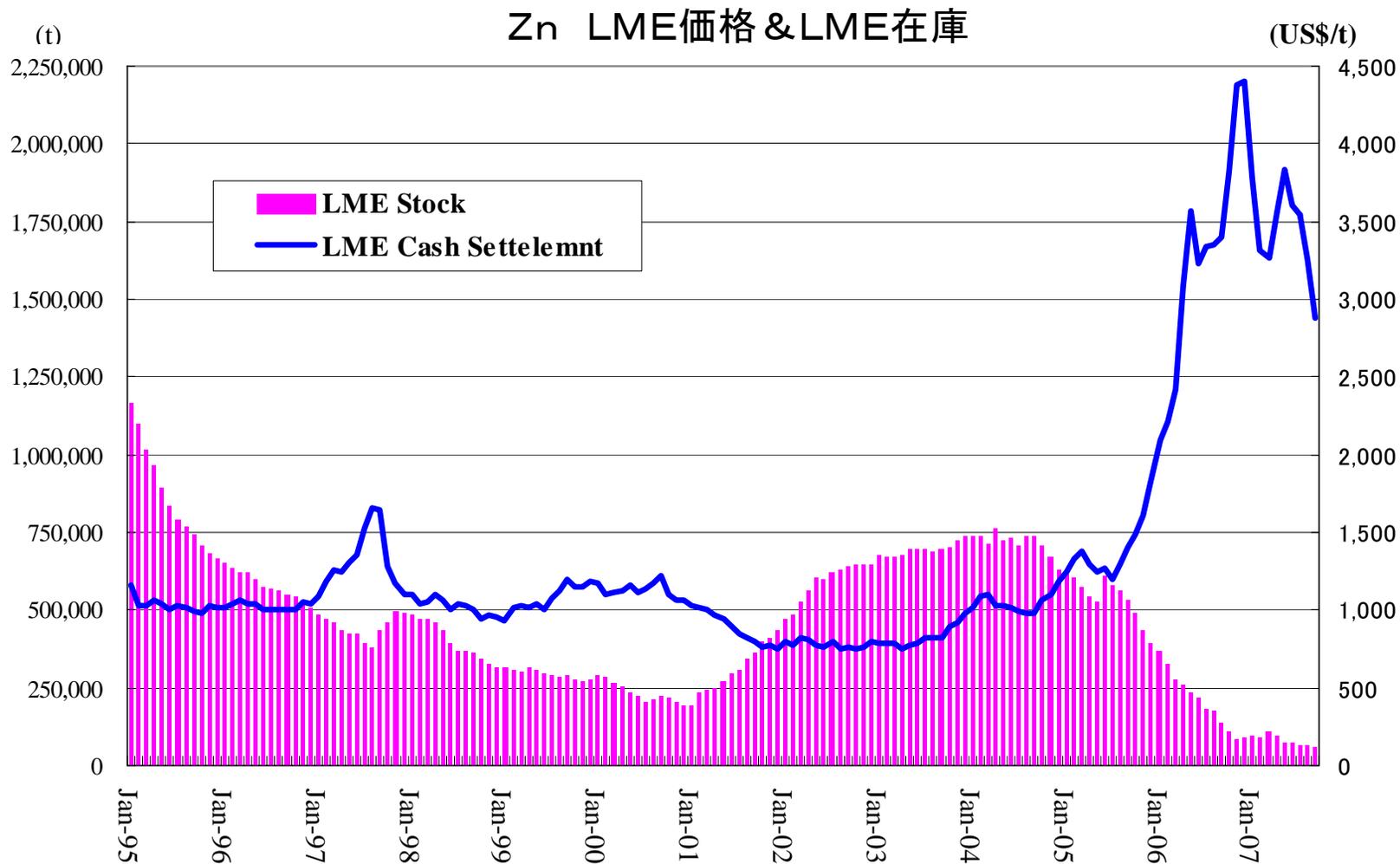
(\$/Toz)

ロンドン金価格推移 1988/1~2007/9



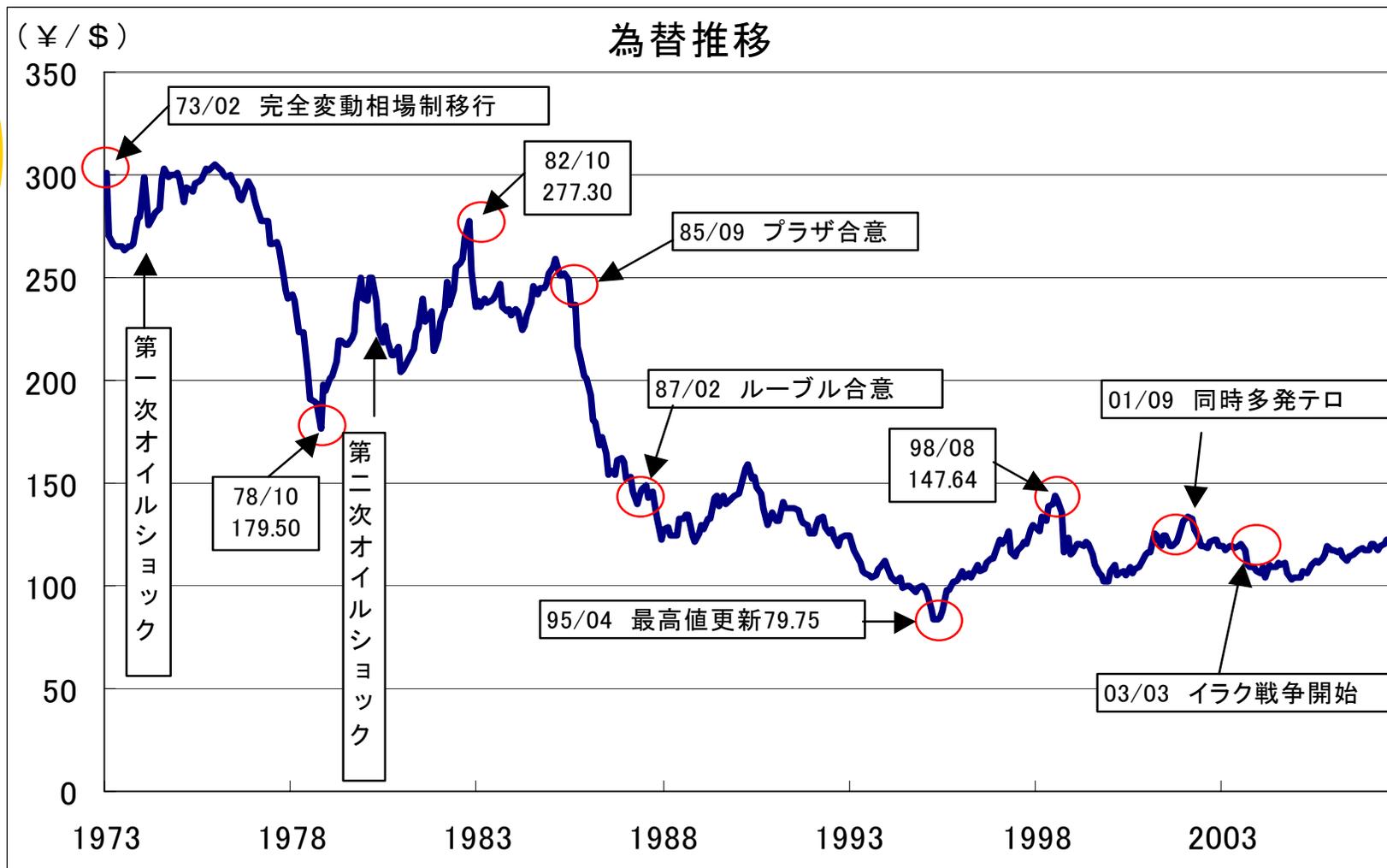
Zn

Zn	05上	05下	06上	06下	07上
\$/t	1,287	1,941	3,328	3,830	3,445



為替

為替	05上	05下	06上	06下	07上
¥/\$	109.47	117.15	115.38	118.67	119.33



07年度中間決算概要



2007年度(平成20年3月期)中間決算概要

連結業績推移

¥100mn

	FY2005		FY2006		FY2007		
	Fiast half	Second half	Fiast half	Second half	Fiast half	Forecasts for second half	Forecasts for FY 2007
売上高 Net sales	2,720	3,536	4,605	5,063	5,932	4,918	10,850
営業利益 Operating profit	293	535	797	829	1,005	545	1,550
経常利益 Ordinary Income	367	630	952	1,101	1,371	769	2,140
純利益 Net income	236	392	614	647	915	485	1,400
Cu (\$/t)	3,574	4,621	7,440	6,501	7,677	7,000	7,339
Ni (\$/lb)	7.03	6.23	11.13	16.91	17.75	13.00	15.38
Au (\$/Toz)	433	520	625	632	674	650	662
為替 (¥/\$) Foreign exchange	109.47	117.15	118.67	117.03	119.33	110.00	114.67

07上 VS 06上 業績比較

経常利益 419億円の増益要因

	¥100mn		
	07上決算	06上決算	増減
売上高 Net sales	5,932	4,605	1,327
営業利益 Operating profit	1,005	797	208
経常利益 Ordinary Income	1,371	952	419
純利益 Net income	915	614	301
Cu (\$/t)	7,677	7,440	237
Ni (\$/lb)	17.75	11.13	6.62
Au (\$/Toz)	674	625	49
為替(¥/\$) Foreign exchange	119.33	115.38	3.95

1. 相場要因 +331
 - 1) 金属価格・原料条件 +470
Ni +410、Cu +30、Zn +22、Au +8
 - 2) 在庫評価影響 Δ 158
 - 3) 為替差 +26
 - 4) その他 +7
2. 資源・金属プロジェクト効果 +178
3. 増販 +37
4. 電子・機能材セグメント Δ 35
基板材料販売価格低下、電池材料原料代高騰
5. その他 Δ 92
未実現利益控除 Δ 52、その他 Δ 40

07上 VS 06上 セグメント営業利益

¥100mn

	07上決算	06上決算	増減
資源	247	159	88
金属・金属加工	733	549	184
電子・機能材	46	81	△ 35
建材その他	17	23	△ 6
消去	△ 38	△ 15	△ 23
計	1,005	797	208

資源 + 88 : 菱刈 + 50、Pogo + 10、海外銅鉱山 + 28

金属・金属加工 + 184 : 売上総利益(単独 + CBNC) + 199

電子・機能材 △ 35 : 2層めっき基板の価格競争激化、電池材料の原材料費高騰

建材その他 △ 6 : 建材 △ 3

金属売上総利益増減内訳

系別	数量差	価格・条件差	為替差	在庫評価	その他
Cu系 △ 130	20	△ 50	10	△ 100	△ 10
Ni系 325	40	320	10	△ 50	5
その他 4				△ 10	14
計 199	60	270	20	△ 160	9

07/下予想 VS 07/上実績比較

経常利益 △602億円の要因

¥100mn

	07下予想	07上決算	増減
売上高 Net sales	4,918	5,932	△ 1,014
営業利益 Operating profit	545	1,005	△ 460
経常利益 Ordinary Income	769	1,371	△ 602
純利益 Net income	485	915	△ 430
Cu (\$/t)	7,000	7,677	△ 677
Ni (\$/lb)	13.00	17.75	△ 4.75
Au (\$/Toz)	650	674	△ 24
為替 (¥/\$) Foreign exchange	110.00	119.33	△ 9.33

1. 相場要因 △ 508
 - 1) 金属価格・原料条件 △ 305
Ni △ 222、Cu △ 17、Zn △ 16、
Au △ 2、海外鉱山 △ 48
 - 2) 在庫評価影響 △152
 - 3) 為替差 △ 43
 - 4) その他 △ 8
2. 資源・金属プロジェクト効果 △ 12
3. 数量差 △ 41
Fe-Ni △2千トなど
4. 電子・機能材セグメント + 18
電池材料の原材料代(Ni)下落、
TAB・L/F復調など
5. その他 △ 59

セグメント営業利益(07/下 VS 07上)

¥100mn

	07下予想	07上決算	増減
資源	123	247	△ 124
金属・金属加工	297	733	△ 436
電子・機能材	74	46	28
建材その他	23	17	6
消去	28	△ 38	66
計	545	1,005	△ 460

資源 △ 124 : 菱刈数量差 △ 90、Pogo + 10、海外銅鉱山 △ 40(数量差 △ 20など)

金属・金属加工 △ 436 : 売上総利益(単独 + CBNC) △ 447

電子・機能材 +28 : 電池材料の原材料代(Ni)下落、TAB・L/F復調など

建材その他 + 6 : 建材 + 1、廃触媒 △ 4、その他 + 9

消去 +66 : 菱刈鉱未実現利益控除 + 70

金属売上総利益増減内訳

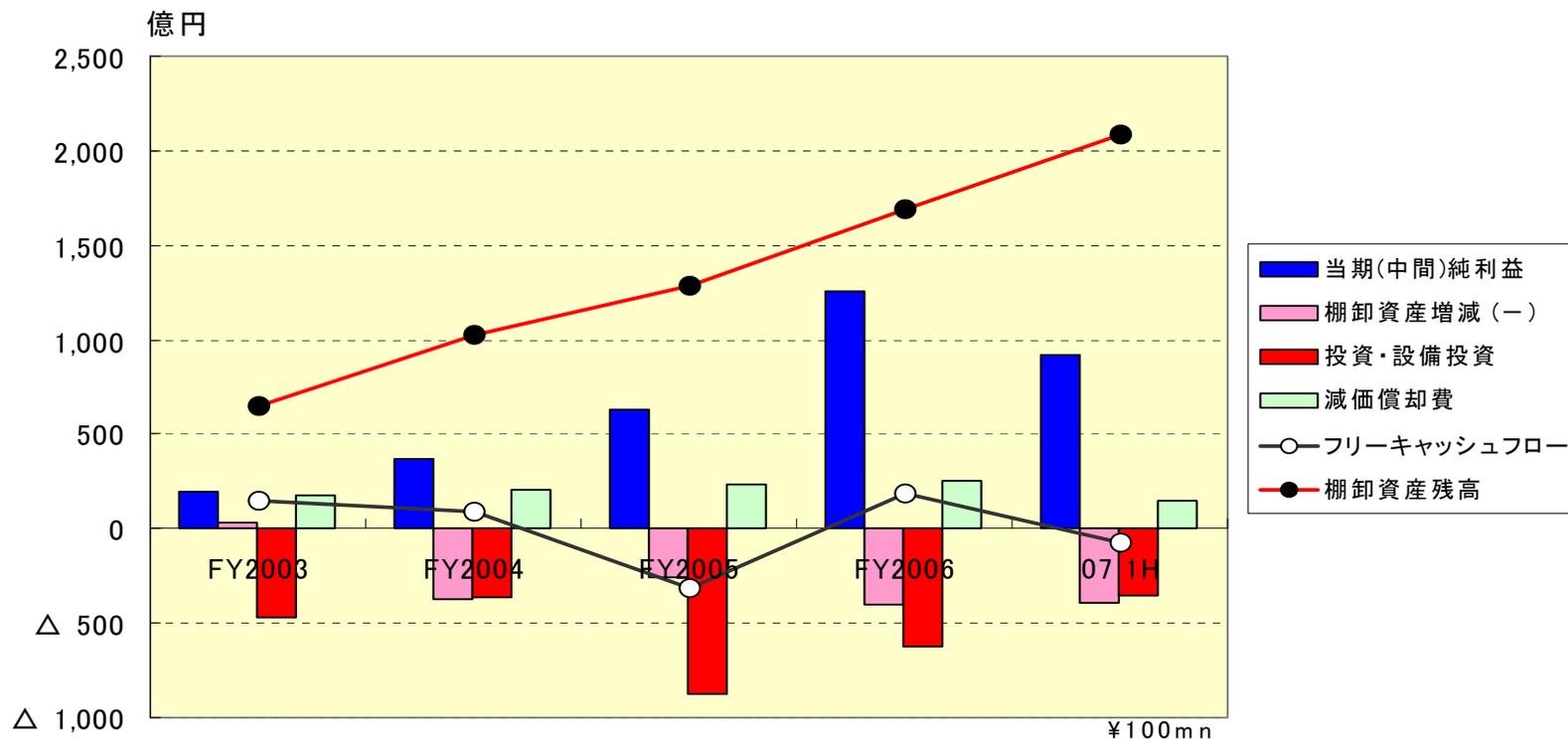
系別	数量差	価格・条件差	為替差	在庫評価	その他
Cu系	△ 115	△ 30	△ 15	△ 70	0
Ni系	△ 315	△ 20	△ 190	△ 80	△ 5
その他	△ 17	△ 10	△ 5		△ 2
計	△ 447	△ 20	△ 230	△ 150	△ 7

億円

財務体質の状況

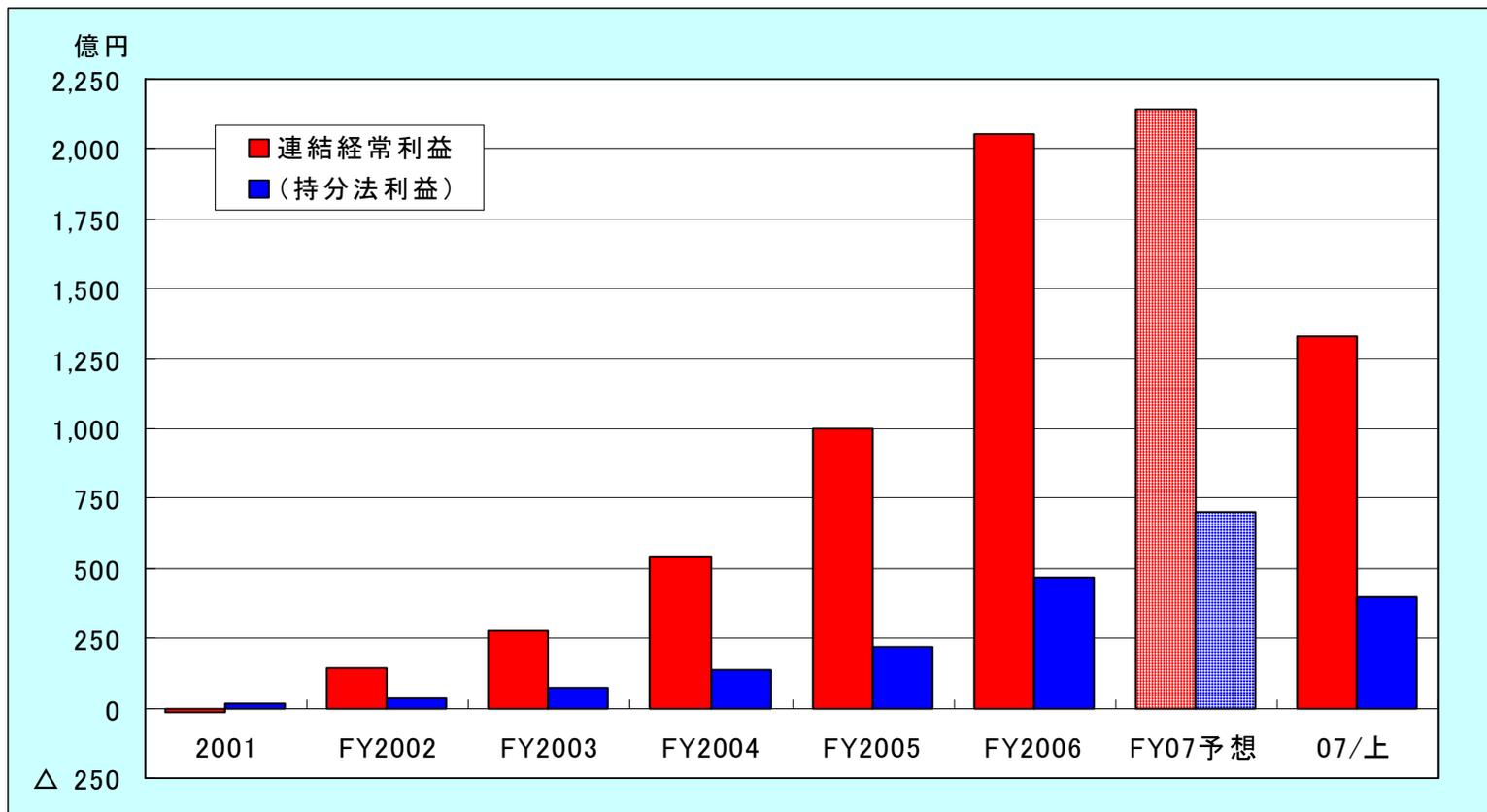
	¥100mn			
	FY2004	FY2005	FY2006	07 1H
総資産 Total assets	5,739	7,726	9,292	10,307
有利子負債 Interest-bearing debt	1,605	1,909	1,899	1,941
有利子負債比率 Interest-bearing debt ratio	28.0%	24.7%	20.4%	18.8%
自己資本比率 Equity ratio	49.5%	48.4%	53.4%	56.7%
D/E ratio	0.57	0.51	0.38	0.33
棚卸資産 Inventories	1,028	1,289	1,693	2,090

キャッシュフロー



	FY2003	FY2004	FY2005	FY2006	07 1H
当期(中間)純利益 Net income	199	370	628	1,261	915
棚卸資産増減(-) Change in inventories	30	△ 378	△ 261	△ 404	△ 397
投資・設備投資 Investments	△ 465	△ 365	△ 878	△ 625	△ 356
減価償却費 Depreciation	178	206	230	257	149
棚卸資産残高 Inventories	650	1,028	1,289	1,693	2,090
フリーキャッシュフロー Free cash flow	149	85	△ 316	186	△ 79

持分法損益



	2001	FY2002	FY2003	FY2004	FY2005	FY2006	FY07予想	07/上
連結経常利益	△ 15	146	278	545	997	2,053	2,140	1,330
(持分法利益)	15	34	71	135	219	467	700	400

価格・為替センシティブティ

100 ¥million

要素	変動幅	FY2006	FY2007
Cu	±100 \$/t	11/16	11/18
Ni	±1 \$/lb	60/80	60/80
Au	±30 \$/Toz	11/11	14/14
¥/\$	±1 ¥/\$	5.5/5.5	10/10

営業利益/経常利益 (Operating profit/Recurring profit)

ご注意

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいます様お願いします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。